ホルガ改造ピンホールカメラ リメイクテキスト



日本針穴写真協会

このテキストだけですと不明な点もあると思いますので、オンラインワークショップ「HOLGAリメイク」をご覧いただいて、ご理解いただいてからリメイクしていただくことをお勧めいたします。

オンラインワークショップ URL: http://m-naka.jp/onlinews/ows.html

HOLGA リメイクキット



HOLGA 改造ピンホールカメラのリメイクキット

上部3点:シャターユニット

下部中央:赤窓処理

下部右:三脚穴

下部左:銅箔 (0.03mm厚 3枚)

リメイク箇所の分解

リメイク箇所 1(シャッターユニット)







シャッターユニットはボディに両面テープで貼ってあるので端から簡単にはがせます。両面テープの粘着面が残っている場合は、布テープ等で剥がすときれいに取れます。

リメイク箇所 2(赤窓処理)







ここも両面テープで貼ってありました。ボンドで貼ってある場合もありますが、接着面が少ないので簡単にはがせます。

リメイク箇所 3(三脚穴)









三脚穴はホットボンドで貼り付けてありますので、一番剥がしにくいところになります。特に使用上支障がなければそのままでも構いません。剥がすにはスクレイパーを使うと割と簡単に剥がれます。その後、ヤスリ等を使ってきれいにしておきましょう。

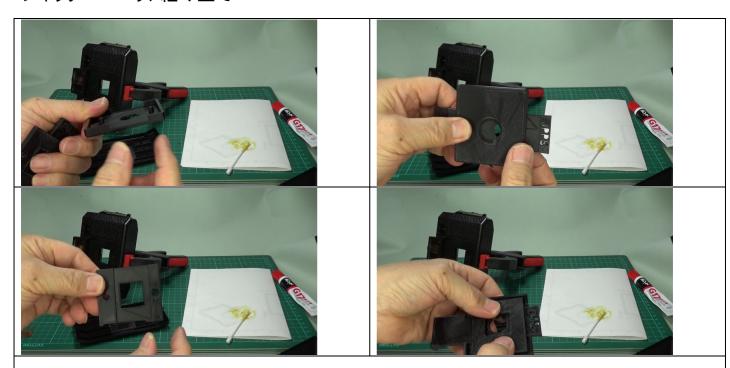
接着(赤窓処理、三脚穴)



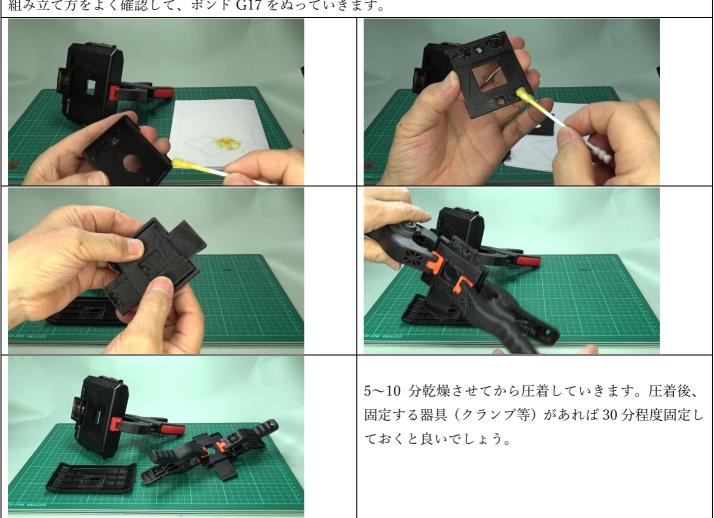
ボンド G17 で、赤媽祖処理と三脚穴の部材を貼り付けます。貼り付ける面の両方にボンド G17 をぬり、 $5\sim$ 10 分乾燥させてから圧着します。



シャッターユニット組み立て



組み立て方をよく確認して、ボンド G17 をぬっていきます。



ピンホールの取付と本体への装着



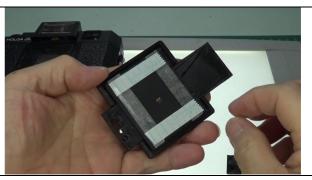
シャッターユニットの裏にピンホールを貼ります。ピンホールの一カ所にテープを貼り、表から見てシャッターユニットの穴の真ん中に来るように貼ります。



位置が決まりましたら、残りの 3 カ所にテープを貼っていきます。







ピンホールを貼ったテープの余分なところをカットしてから、両面テープを貼り、カメラ本体に貼ります。



HOLGA 改造ピンホールカメラのリメイクが完成しました。



